

第3回としま再エネ会議

「豊島区の地域力を活かす ～地域で活躍する団体とエネルギーを語る～」

報告書

開催日：2015年9月26日（土） 14:00～16:00

開催場所：みらい館大明 115教室

参加者数：参加者24名（事前参加申請13名 当日欠席者2名 申込み無13名）

事務局：4名

講師：栗林 知絵子氏（NPO法人豊島子どもWAKUWAKU ネットワーク 理事長）

大越 宏樹氏（としまでエネルギーを考える会 代表）

森 良氏（NPO法人 エコ・コミュニケーションセンター（ECOM） 代表）

荘司 哲夫氏（NPO法人いけぶくろ大明 理事）

実施内容：プレゼンテーション（団体紹介）、パネルディスカッション

アンケート回答数：18名（75%）

（1）実施内容について

1.プレゼンテーション（団体紹介）

みらい館大明で行われた講座の前半は、講師の団体紹介を行った。環境やエネルギーに関連した団体だけでなく、子どもの貧困や街づくりをテーマとした団体もあり、多様な分野に取り組む方が豊島区でどのような活動を行っているのかを知ることができる構成となった。日々の取り組みについて、具体的な事例を含めた紹介となった。荘司氏からは、みらい館大明の省エネの取り組みについて、実際に施設を見回りながら説明を受けた。

アンケートでは「よかった」とする回答者が全体の約75%を占めた。



（プレゼンテーションを行う登壇者）

2.パネルディスカッション

講座の後半は、団体代表者によるパネルディスカッションを行った。それぞれの団体において若者（主にインターン）を積極的に巻き込んでいくことの重要性や、団体関連施設への再エネ導入についても議論ができた。今回は質問用紙を使用して、休憩時間中に登壇者への質問を受け付け、それをもとに議論を行ったが、会場となった「みらい館大明」での省エネの取り組みについても、関心を持った参加者が多くいることが分かった。パネルディスカッションについて、アンケートでは「よかった」とする回答者が全体の69%を占めた。



(左図：パネルディスカッションの様子)



(右図：みらい館大明を見回る様子)

(2) まとめ

今回の講座は、約半数が当日参加者であった。通りすがりの参加者も多数見受けられた。みらい館大明が地域に根差した施設であることを実感するとともに、今回は実際に施設内の省エネの取り組みを学ぶことができ、参加者からも高い評価を得た。講座では、4つの団体の代表者によるプレゼンテーションとパネルディスカッションを行い、各々の取り組みや事例をふまえた議論が活発に交わされ、今後の豊島区における市民団体としての役割やこれからの展望について語り合うことができた。